

あらゆる失敗は 回復できるが、 自殺と殺人によって 失われた命は 二度と回復できない

—もやしからのメッセージ—

先日東京で無差別殺人があった。通り魔事件などといっているが、あれは無差別殺人である。被害者の方には心よりご冥福をお祈りするが、それにしてもあの犯人はいったい何なのだろう。「殺すのは誰でもよかった。」とはいったいどういう発想なのか。いったい小さい頃から何を学んできたのか？あるいは何を学ばなかったのか？

あの事件の次の日の授業でこの話題になり、A君が言った。「あいつ変やぞいや。あんなことはせんなあ。」と。彼はこの日ちよいとばかりのシャツ出し少年だったのだが、考えることはまともだなあと思った。この感覚をあの犯人は持っていなかったのだ。

「なぜ人を殺してはいけないのか。」などということを一いち理由をつけてあの犯人に教えなくてはならなかったのだろうか。

(興味のある人は「なぜ人を殺してはいけないのか」(小浜逸郎 洋泉社新書)という本があるので読んでみるのもいいでしょう。今度機会があったら、内容を少し紹介しましょう。)

「人を傷つけてはいけない。」とか「自分のいやなことは人もいやなのだ。自分のいやなことは人にもしてはいけない。」とか、命の大切さといったことはきっとこれまで聞いてきただろうし、我々が集団に所属し、社会をつくっていく上では守るべきものがある。

そして、我々には大切にすべきものがある。失いたくない大切なものがいろいろとあるはずだ。そんなものを不条理にも奪う殺人は、してはならないことだろう。

ましてや、いろいろな不満のはけ口を「誰でもいいから。」などと言って殺人を犯すのは問題外である。

えらく勉強ができた少年だったらしいが、高校へ入って回りにたくさん勉強ができる人がいて、落ち込んだらしい。自分より上には上がいるのが当たり前であるとか、勉強ができる以外にも世の中には価値のあることがたくさんあるとか、世の中にはいろいろな人がいて、それでいいのだ

とか、そんなことは考えられなかったのだろうか。我慢をしたり、次のいろいろな方法を考えたりといったことはなかったのだろうか。そして、自分の持つ不満を語る友さえいなかったのだろうか。

いろいろな事件は社会の状況を反映していることが多いものだが、まさしく社会性が欠如し、共同体の中で暮らしているという意識がなく、自分が中心に世界が回っていると思っている人間のやったことなのだろうか。

だがそれにしても、失われた命は二度と回復できない。

それと、日本の自殺者の数も多い。年間3万人を超えている。交通事故での死者数がすでに1万人を下回り、去年は確か7000人も下回ったから、自殺者は交通事故で不慮の死を遂げるものよりも4倍もあるのである。1日に換算すると100人近くである。

石川県はすべてにおいて、だいたい日本の統計の100分の1だから、石川県では毎日約1名ずつ、自殺者が出ている勘定となる。

いじめによる自殺というのも時々ニュースになっているし、それもまた悲惨であり、なくさなければいけないが、それにしても何と命を粗末にするのだろう。

病気でもっと生きてくても生きられない人もいるというのに、なんということか。

やはり、それぞれに命を大切にしなければならぬ。

失われた命は二度と回復できない。

さて、みんなもこれまでにいろいろと失敗はあったことだろう。

親にも叱られ、先生にも叱られ、地域の人にも叱られたかもしれない。

しかし、いろいろな失敗も取り戻すことはできるものである。

こわしてしまった物は元には戻らないかもしれないが、代わりの物を用意することはできる。

定期テストで失敗しても、つぎの試験もあるし、入試までに挽回することもできる。

友達とケンカしても、考え直して仲直りすることができる。

勉強不足はこれからの集中で取り返すことができる。

叱られたことには意味があるのだから、よくよく考えて、次からは考え方や行動を変えていけばいい。

だけど、自殺と殺人によって失われた命は二度と回復できないのである。

これからの君たちの人生も長い。

失敗もあれば成功もあるだろう。

あんなことしなければよかったということもあれば、逆に楽しい思い出もたくさんあるだろう。

そしてこれからも、きっとそうだろう。

すべてがうまくいく方がいいに決まっているが、そうとばかりはいかないのが現実である。

だが、「あらゆる失敗は回復できるが、自殺と殺人によって失われた命は二度と回復できない。」のである。